

## 岩谷瓦斯(株)より 低温機器製造・販売事業の 譲り受けに合意

—アルバック・クライオ(株)

アルバック・クライオ(株) (以下 UCI) は、2014年5月より、岩谷瓦斯(株)エンジニアリング事業部 低温機器部 (以下岩谷瓦斯) の低温機器製造・販売事業を譲り受け、製造販売を行っている。

UCI は、半導体製造装置やフラットパネルディスプレイ製造装置、光学膜製造装置などの真空を用いた装置・機器に使用されているクライオポンプの専門メーカーで、長年にわたり日本やアジア地域で多くの販売実績を持っている。また、2009年には超伝導、医療機器、測定器、冷凍容器分野で使用される低温冷凍機ビジネスに参入した。

一方、岩谷瓦斯は、極低温領域における研究・開発で使用される極低温冷却装置 (クライオスタット) および極低温冷凍機を主力とした低温機器製品の最大手として展開してきたが、当事業は2013年末をもって製品販売を終了していた。

UCI は、低温機器製造・販売事業を譲り受けることで、極低温冷却装置をラインアップに加えることができ、さらに、極低温要素技



液体窒素サーバー



各種クライオスタット

術を獲得し、シナジー効果による積極的な技術革新を図ることが可能となった。それにより、成長著しい超伝導や医療機器分野への参入を促進していく。

### ●お問い合わせ先

アルバック・クライオ(株)  
TEL : 0467-85-0303  
URL : <http://www.ulvac-cryo.com/>

## アルバック理工の 株式をチノーへ譲渡、 新社名は「アドバンス理工」

—(株)アルバック

2014年11月、(株)アルバックの連結子会社アルバック理工(株)の全株式を(株)チノーに譲渡することが決定し、2014年12月25日にアルバック理工(株)はアルバックグループを離れ、チノーグループの一員として「アドバンス理工(株)」という新社名で再スタートを切った。

アルバック理工(株)は、1962年に真空理工(株)として設立され、赤外線ランプ加熱装置、熱分析・熱物性測定装置などの熱分析機器の専門メーカーとして事業を展開してきた。

譲渡先のチノーは、温度を軸とした計測・制御の専門メーカーであり、その中でも温度測定から調整までの一貫したソリューションの提供を重要な事業と位置付けている。アルバック理工の熱技術が加わることにより、さらなるシナジー効果を生み出すものとして、大きな期待が寄せられている。

### ●お問い合わせ先

(株)アルバック  
TEL : 0467-89-2033  
URL : <http://www.ulvac.co.jp/>

## ●新製品トピックス

\*詳しくはホームページをご覧ください。

(株)アルバック

### リークディテクタ新製品 「HELIOT900 シリーズ」 販売開始

(株)アルバックは、新型リークディテクタ「HELIOT 900シリーズ」の販売を開始した。

リークディテクタは、ヘリウムガスを使用した漏れ検査 (以下ヘリウムリークテスト) において、漏れ量や漏れ箇所の特定を行うための検査装置である。ヘリウムリークテストは、漏れ検査の中でも感度的に最も優れ、かつ微小な漏れに対しても短時間で精度良く検査ができるため、各種配管構造の部品全般、電子デバイス、空調・冷凍機、自動車関連などの生産ラインをはじめ、食品・薬品包装、医療機器など、漏れ検査が必要とされるあらゆる分野で使用されている。(株)アルバックでは1960年代よりリークディテクタを販売しており、1995年よりモデル名を「HELIOT シリーズ」として販売している。

昨年、主力「HELIOT 710シリーズ」の全面更新を行い、新たに「HELIOT 900シリーズ」の販売を開始した。

製品に対する品質向上の全世界的な動きに



より、リークテストの市場規模は年々広がりを見せており、ヘリウムリークテストもその中心的な手法として、今後も成長が見込まれている。リークテストの新しい用途拡大や、厳しさを増す検査基準に対しても、「HELIOT 900シリーズ」は対応できる製品となっている。

### 【特長】

#### (1)ヘリウム排気速度5 L/secを達成

時間短縮、応答性向上、安定性向上、検出感度向上など、厳しさを増すヘリウムリークテストの要求に応えるために、検出部の高感度化と合わせてテストポートのヘリウム排気能力を大幅に強化した。

#### (2)タブレット型コントローラの標準採用

本体固定表示器による制約がなくなり、利便性が大きく向上。画面サイズ7インチの静電容量式タッチパネルによりオペレーターは手元で、より直感的に軽快に操作することが可能になった。また、本体との無線LAN機能を標準搭載しており、ワイヤレスリモコンとして使用することもできる。

#### (3)高機能モバイルカート

狭い通路を安全に移動することができるよう、コンパクトな筐体サイズ、大型車輪、凹凸のないパネルカバー、移動・固定の操作性など、現場の声を数多く採用。

#### (4)ユーザーメンテナンスの作業性向上

保守パネルは工具不要で外せる構造で、内部構造も作業し易く設計されている。保守作業解説の動画をコントローラに表示させながら作業することができる。

#### (5)従来機種との互換性

スムーズな置き換えが可能。

### ●お問い合わせ先

(株)アルバック 規格品事業部  
TEL : 0467-89-2261  
URL : <http://www.ulvac.co.jp/>

## 水晶振動子周波数調整装置が 神奈川県工業技術開発大賞 「ビジネス賞」を受賞

—株式会社 昭和真空



神奈川県と神奈川新聞社の共催により、技術開発の奨励と技術開発力の向上を図ることを目的に、県内の中堅・中小企業が開発した優れた工業技術・製品を表彰する「第31回神奈川工業技術開発大賞」が発表され、(株)昭和真空の水晶振動子用周波数調整装置「SFE-B03」が「ビジネス賞」を受賞した。

昭和真空はこれにより、「大賞」(第1回)と「奨励賞」(第11回)に続く3回目の受賞となった。

この装置は、水晶振動子の共振周波数を連続で測定・監視しながら、水晶振動子表面の電極膜をアルゴンイオンビームでエッチングし、目標の周波数になるように調整するもの。今回の受賞は、より小型で高精度の水晶振動子を高い生産性で調整・加工できるようになった点が評価された。

この装置の使用により、各種電子機器のより一層の小型化・高性能化が期待される。

### ●お問い合わせ先

(株)昭和真空

TEL : 042-764-0321

URL : <http://www.showashinku.co.jp/>

## 7年連続 AUO ベストサプライヤー賞受賞 IGZO プロセス改善と 装置短納期が評価

—ULVAC TAIWAN INC.

(株)アルバックの台湾の現地法人である ULVAC TAIWAN INC. (以下、UTI) は、台湾の大手パネル会社友達光電 (以下、AUO 社) より、2013 年度のベスト装置サプライヤー賞を受賞し、これにより7年連続の受賞となった。



当日は台湾・新竹 AUO 本社にて表彰式が行われ、AUO 社・謝忠賢副総経理から(株)アルバックの取締役常務執行役員 末代政輔に記念の楯が授与された。

今回の受賞は、AUO 社の大型量産ラインの IGZO のプロセス提案による改善を図ったこと、さらに、スパッタリング装置の短納期化を行ったことなどが評価されたものである。

### ●お問い合わせ先

ULVAC TAIWAN INC.

TEL : (886)3-579-5688

URL : <http://www.ulvac.com.tw/>

(株)アルバック

## セラミック玉軸受型ターボ分子ポンプ [UTM300B]



(株)アルバックは、排気速度280L/secのセラミック玉軸受型ターボ分子ポンプ「UTM300B」の販売を開始した。

ターボ分子ポンプは、高真空～超高真空を作るために用いられる真空ポンプで、研究開発から製造ライン向けに広く使用されている。(株)アルバックはこれまで、ピボット軸受型の小型タイプ、磁気軸受型の中型～大型タイプをラインアップしてきたが、ターボ分子ポンプの用途が多様化していく中で、取り付け方向が自由であること、より小型であること、補助ポンプも小型にできること、等のニーズに対応するため、この度セラミック玉軸受型ターボ分子ポンプ「UTM300B」を製品化した。

「UTM300B」はセラミック玉軸受を採用し

た排気速度280 L/secのターボ分子ポンプである。コントローラとポンプの一体化により、省スペースを実現。取付け方向に制限が無く、優れた高背圧特性により、補助ポンプの小型化も可能になった。

従来の磁気浮上型に比べて手頃な価格のため大学・研究所向けの装置や一般企業向けの小型装置などに最適である。

### 【特長】

- (1)取り付け方向は無制限。
- (2)コントローラがポンプ本体と一体になっているため、省配線と排気系の小型化に有効。
- (3)吸気口と排気口の圧縮比が高く、高背圧運転が可能そのため、補助ポンプの小型化が可能。
- (4)吸気口フランジはVG100、ICF152、ISO100-Kの3種類から選択が可能。
- (5)無負荷運転時の騒音は50dB以下と静か (ISOフランジ型、当社測定値)。
- (6)CEとNRTLの海外規格に適合。

### ●お問い合わせ先

(株)アルバック 規格品事業部

TEL : 0467-89-2261

URL : <http://www.ulvac.co.jp/>

(株)アルバック

## 「フォトリソグラフィプロセス インテグレーションシステム」を開発販売

(株)アルバックは、丸文(株)、東京応化工業(株)、東芝機械(株)、産業技術研究所、理化学研究所との共同研究で、LED製造プロセスにおいて光の取り出し効率を大幅に改善できる「フォトリソグラフィプロセスインテグレーションシステム」を開発し、販売を開始した。

同システムは、LED製造過程において、最終的に光を外部に放出するサファイア基板層に、独自のパターンをもつフォトリソグラフィ層をナノインプリントとドライエッチングにより形成し、今まで素子内部に戻り、熱に変わってしまった光を外部に取り出し、エネルギー効率を大幅に向上させるものである。

フォトリソグラフィは、光を散乱させたり透過させたりすることができるもので、従来はPSSという方式が使われていたが、今回のフォトリソグラフィ層を用いることにより、PSSでは30%程度の光取り出し効果を最大で80%程度まで増加させることができる。また、パターンの深さが5分の1程度で済むことから、ド

**深圳華星光電 (CSOT) より  
特別貢献賞受賞  
アルバックグループの迅速対応と  
部品供給体制で量産安定稼働に大きく貢献**

—ULVAC (Shanghai) Trading Co., Ltd.



中国大手総合家電メーカー TCL 集団傘下の深圳華星光電 (CSOT) が新たに投資する G6 LTPS パネルの生産ラインの起工式及びグローバルベンダー大会が、2014 年 9 月 16 日に湖北省武漢市にて開催された。

優秀ベンダーの表彰式が行われ、TCL 集団の李東生会長より、(株)アルバック小日向久治社長に特別貢献賞が手渡された。これは、深圳の G8.5 生産ラインで、アルバックグループが工場近くにサービスセンターをすぐに立

**(株)アルバック  
JCSS 校正サービス  
対象範囲を拡大**

(株)アルバックは、真空計の国際 MRA/JCSS \* 認定校正事業者であるが、この度、圧力範囲が拡大され、すべての真空計 (当社製、他社製問わず) の対応が可能になった。(株)アルバックは今後も JCSS 特定二次標準器および常用参照標準器を用いて、当社製品の真空計はもちろん、お客様が現在お持ちの他社メーカーの真空計の校正も行い、JCSS 標準付の証明書を発行していく。

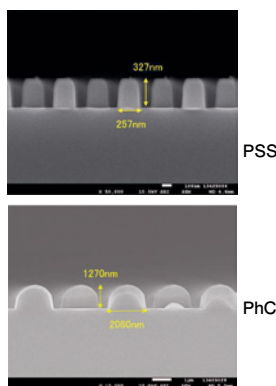


- \* JCSS (Japan Calibration Service System) : 計量法校正事業者登録制度
- \* 国際 MRA (Mutual Recognition Agreement) : 国際相互承認

●お問い合わせ先  
株式会社アルバック 規格品事業部 標準校正室  
TEL : 0467-89-2418  
URL : <http://www.ulvac.co.jp/>

ち上げ、迅速なサービス対応や部品供給体制を整え、量産安定稼働に大きく貢献したことが評価されたものである。

●お問い合わせ先  
ULVAC (Shanghai) Trading Co., Ltd.  
TEL : (86)21-6127-6618  
URL : <http://www.ulvac-shanghai.com/>



上 : 従来の PSS 方式 (倍率 1 万倍写真)  
下 : フォトニック結晶方式 (倍率 5 万倍写真)

ライエッチング時間が短縮されるため、製造コストも大幅に抑えることができる。

丸文(株)は、このシステムの国内総販売元として、共同開発のライセンス、各社の装置、材料を一括して販売サポートする。(株)アルバックと東芝機械(株)は、フォトニック結晶層を形成するナノインプリント装置を担当し、特に(株)アルバックは、加工制御技術に優れた二

層レジスト法を用いて、ドライエッチング後の最終形状をパターン設計通りに加工する部分を受け持っている。

●お問い合わせ先  
(株)アルバック 電子機器事業部  
TEL : 0467-89-2139  
URL : <http://www.ulvac.co.jp/>

■皆様のご意見、ご感想を編集室までお寄せください。(ULVAC グループに関することでも結構です。)

〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2500 電話 0467-89-2033

(株)アルバック 本社・工場 経営企画室 広報・IR 室

Eメールでのご意見、ご感想は [pr@ml.ulvac.com](mailto:pr@ml.ulvac.com) までお寄せください。

● ULVAC の紹介はこちらをご覧ください。  
<http://www.ulvac.co.jp/>

**ULVAC グループ**

- 株式会社アルバック  
アルバックテクノ株式会社  
アルバック九州株式会社  
アルバック東北株式会社  
アルバック機工株式会社  
アルバック販売株式会社  
アルバック・クライオ株式会社  
アルバック・ファイ株式会社  
タイゴールド株式会社  
アルバック成膜株式会社  
日真制御株式会社  
アルバックヒューマンリレーションズ株式会社  
真空セラミックス株式会社  
株式会社ファインサーフェス技術  
日本リライアンス株式会社  
株式会社昭和真空

- 中国  
愛発科(中国)投資有限公司  
寧波愛発科真空技術有限公司  
愛発科真空技術(蘇州)有限公司  
愛発科東方真空(成都)有限公司  
愛発科自動化科技(上海)有限公司  
愛発科天馬電機(靖江)有限公司  
愛発科中北真空(沈陽)有限公司  
愛発科商貿(上海)有限公司  
愛発科電子材料(蘇州)有限公司  
愛発科豪威光電薄膜科技(深圳)有限公司  
寧波愛発科低溫泵有限公司  
寧波愛発科精密鑄件有限公司  
愛発科(蘇州)技術研究開發有限公司  
洛陽鑫友鋳業有限公司  
香港真空有限公司  
愛發科真空設備(上海)有限公司

- 台湾  
ULVAC TAIWAN INC.  
ULTRA CLEAN PRECISION TECHNOLOGIES CORP.  
ULCOAT TAIWAN, Inc.  
ULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.  
ULVAC SOFTWARE CREATIVE TECHNOLOGY, CO., LTD.  
ULVAC Materials Taiwan, Inc.

- 韓国  
ULVAC KOREA, Ltd.  
Ulvac Korea Precision, Ltd.  
Pure Surface Technology, Ltd.  
ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATED  
ULVAC Materials Korea, Ltd.  
UF TECH, Ltd.

- 東南アジア  
ULVAC SINGAPORE PTE LTD  
ULVAC MALAYSIA SDN. BHD.  
ULVAC (THAILAND) LTD.

- 北米  
ULVAC Technologies, Inc.  
Physical Electronics USA, Inc.

- 欧州  
ULVAC GmbH